

障害者福祉課

新型コロナウイルス感染症を契機とした障害者就労継続支援事業所 への販路の開拓支援について

1 安定した販路の開拓に向けた支援の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや事業が休止し、障害者就労継続支援事業所の自主生産品の売上げや業務の受託が大きく減っているため、障害者の就労の機会も失われています。

障害者就労継続支援事業所に就労している障害者は、事業所に通所して生活リズムを保ちながら、仕事をして工賃を得ることで、安心して日常生活を送ることができます。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第2波やその後に備え、障害者が安心して日常生活を送るため、地域の民間企業等に対して障害者就労継続支援事業所の活動や得意とする自主生産品・業務について積極的にPRし、困難な状況においても、多くの発注を継続して受けることができる安定した販路の開拓に向けて支援します。

2 支援の概要

(1) 民間企業等への事業所のPRパンフレット及び自主生産品のサンプルセットの配付

ア 内容：今後、区からの発注だけでなく、民間企業等からの自主生産品や業務の発注を多く受けることができるよう、民間企業等（約1,000者（※））に対して、障害者就労継続支援事業所の活動や業務を紹介するPRパンフレットを配付します。また、事業所が得意とする自主生産品のサンプルセットを合わせて配付し、企業のCSRやSDGsを担当する部署への説明を行うなど、安定した販路の開拓に向けて支援します。

なお、PRパンフレットの印刷、サンプルセットの製作、梱包・発送業務については、区が事業所に発注します。

※ 区内でCSRやSDGs活動に積極的に取り組んでいる企業や団体を対象とし、企業等から、ノベルティグッズや記念品の作成、お菓子の販売、製品製造に係る業務（製品製造の下請け、箱詰め

等)、販売業務、清掃業務、データ入力業務等を受注したいと考えています。

(例) 各地区総合支所と協働して活動している企業
企画課企業連携推進担当と協力・連携している企業（JR、コクヨ、森永製菓、大塚製薬等）
みなと環境にやさしい事業所会議（mecc）、みなとネット
町会・自治会、商店会、大使館 等

イ 時期：令和2年8月から

(2) ワークショップの開催

ア 内容：障害者就労継続支援事業所と民間企業等がタイアップした新商品の開発や、新型コロナウイルス感染症などの困難な状況においても、安定的に仕事を受注できる仕組みを構築するためのワークショップを開催し、障害者が働きがいを感じながら、安定的に就労を継続することができる基盤を整えます。

イ 時期：令和2年9月から

3 支援の効果

(1) 障害者への安定した日常生活の維持

PRパンフレットの印刷、サンプルセットに入れる自主生産品やサンプルセットの梱包・配送業務を、障害者就労支援事業所に発注することにより、障害者の事業所への通所による生活リズムの保持や工賃の向上に寄与します。

(2) 障害者が就労し続けられる安定的な販路の開拓

民間企業等と連携して発注を受けられる販路を開拓することで、民間企業等の仕事に関わり、障害者の仕事に対するモチベーションの高まりや工賃の向上を期待できるとともに、今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第2波やその後に備え、そのような状況においても障害者の就労を継続することができる安定的な基盤を整えます。

4 スケジュール（予定）

| | |
|---------|------------------------|
| 令和2年6月 | 令和2年第2回港区議会定例会に補正予算案提出 |
| 7月中旬～下旬 | PRパンフレット、サンプルセットの作成 |
| 8月 | 障害者就労継続支援事業所のPR活動開始 |
| 9月 | 民間企業等とのワークショップの開催 |